

主な取り組み	評価指標	目標		
		2023年度	2027年度	2030年度
(国内外) ・紙筒育苗技術による森林保全 ・生分解性紙筒の商品開発 (国内) ・育苗技術の確立 ・民有林での積極的な普及・推進活動 ・林野庁『伐採と造林の一貫作業システム』における紙筒苗木の容認と普及推進 (海外) ・台湾市場での普及促進	紙筒 国内外の販売(普及)数量 [スギ換算当たりの CO2吸収量/年]	370ケース [33千t：累計62千t]	680ケース [63千t：累計268千t]	780ケース [72千t：累計479千t]
	生分解紙筒の開発	原紙の試験利用	供給開始	普及促進